



冒険遊び場 (プレーパーク) ってなあに?

“冒険遊び場”とかフレーバーとか
ちょっと耳慣れない言葉ですが、簡単にいうと
“子どもたちの自由な遊び場”
“子どもたちの冒険心や好奇心”があふれた遊び場”
といったところでしようか。



★もちろん子どもたちだけじゃなく大人だっていっしょに懇親なきも損ですよね。
焚き火を囲んでおしゃべりしたり。。。
みんなが楽しく過ごせるよう、自分の為にそしてみんなの為に地域の人たちが
いろいろな形で協力して運営しています。

冒険遊び場（プレーパーク）の歴史

1943年、デンマークの造園家が「整った遊び場よりもガラクタがころがっている空き地や資材置き場で子どもが大喜びで遊んでいる」ことに気づき「廃材遊び場」をつくりました。その後、「冒険遊び場」と名前を変えてヨーロッパ各地に広がりました。1970年代には日本に紹介され東京で取り組みが始まりました。



冒険遊び場格言

3 ★「心が折れるより 骨が折れるほうがました」(Better a broken bone than a broken spirit)
アレンオブハートウッド卿夫人 (Lady Allen of Hurtwood)

★「遊びは、子どもが生きていくために必要なさまざまな能力を身につけるために不可欠なものであって、時間を浪費することではありません。」
International Play Association "遊びの権利宣言"より抜粋



★子どもの遊びの動機となっている願望は、結局は「大人になりたい、大きくなりたい」という願望である。この願望は子どもを教育する上の助けになっているものなのである。

ジークムント・フロイト（オーストリアの精神分析学者）

みんなの冒険遊び場って？

フレーワーカー 竹山さん

子どもだけじゃなくて、いろいろな世代のひとが集まってくる『たまりば』になっています。
遊び場づくりを通して、人と人が会っていいのを見ていると、うれしくなってきます。

ケン太くん（小3）

「あかん」言われへんし、食べ物も自分でつくれるし、サッカーも野球もできるし、基地も作れるし、一緒におもしろいことしてくれる大人がいるし、とにかく、冒険遊び場はおもしろいねん。

赤ちゃんづれのお母さん 佐野さん

上の子が近所に遊ぶ子がないくて、ここに来ると大喜びなんです。何より私がゆっくり楽しんでいます。他のお子さんの遊びを見ながら、お母さん同士でおしゃべり。旦那の勘定とかね。

ケン太くんのお母さん

冒険遊び場のある日は、宿題をさっと済ませて元気に出でています。地域の人に見守って、もらっているから、安心して送り出せます。とてもいい表情をして帰ってくるので、楽しかったんだろうなと思います。

近所のおじさん 福田さん

まちの公園に子どもたちの元気な声が戻ってきて、本当に結構なことだよ。いろんな年代の子が一緒にあって遊んでいるのを見ると「あ～、懐かしいなあ」と思うな。

スタッフ 吉川さん

私は小さいころ、おでんまで男の子たちに混ざって、秘密基地をつくって遊んでいました。でも、いまの子どもたち、秘密基地を作れる場所がないでしょ。冒険遊び場にかかるようになり、いまの子どものおかげでいる環境について心を持つようになりましたね。

小学校の先生 廣瀬先生

学級活動のレクリエーションで公園を利用させてもらっています。平日にもかかわらず、お母さんやスタッフさんが手伝ってくださっています。子どもには放課後、外で遊んでいろいろな人と出会いながら育ってほしいと願っています。



はじめての でて友でつくる 冒險遊び場



①調べて・参加が第一歩

近くの冒險遊び場に実際に遊びに行って、体感してみましょう。運営者に声をかけて、話を聞いてみるといいですよ。

日本での冒險遊び場づくりは1975年に世田谷で始まり、現在では全国300ヶ所以上で取り組まれており、様々な冒險遊び場に関する本やHPを調べるととても参考になります。
(本誌17P参照)

②「サンマ」ってなあに？

サンマ（三間）というのは、「空間」「時間」「仲間」のこと。以前なら雑木林、里山、空き地などの空間や異年齢や同年代の仲間、たっぷり遊ぶ時間がありました。今、受験勉強やゲーム遊びに追われ、外遊びが少なくなっています。でも本当は外で思い切り遊びたいはずです。

こうした遊びに必要な三間を子どもたちに返していくのが、冒險遊び場づくりです。

③仲間と一緒に考える

例えば「子どもがのびのび遊ぶのをサポートする」「おいしいものをみんなで食べる」「遊び場づくりをPRする」…など、いま遊び場を実践する上でどこにポイントを置くかを話しておきましょう。メンバー間で目標が共有されていないと現場での対応がちぐはぐになってしまいがちです。

④心地よい場所を求めて！ (意外と悩む場所探し)

外で遊ぶことの気持ちよさ、楽しさを感じることが大切です。地域状況を踏まえて公園等の利用者が来やすい、またスタッフや活動しやすい場所を探します。トイレやベンチ、木陰の有無や見通しなど、心地よさにつながる要素には気を配りたいところです。

⑤力強いパートナー

社協や自治会、行政（公園、市民活動・子育て支援、教育などの担当部署）に、人が場所、使用する時間帯や焚き火ができるか相談してみましょう。

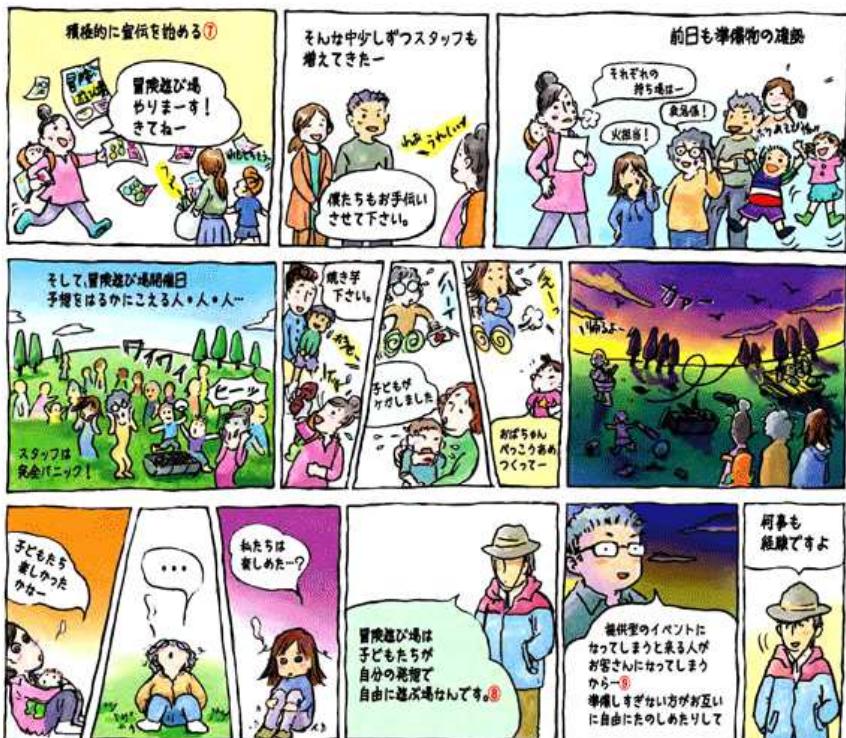
公園を使う場合は、公園担当部署に「一時使用許可」などの必要な手続きをします。

火を使う場合は、消防署への届出も必要です。

⑥ケガや事故に備えた準備

子どもが遊び出すと少々のケガは生じるものです。
摔倒着や消毒液といった**基本的な救急セット**を準備しておきましょう。

また、当日開いている病院の連絡先を確認しておくことも大切です。事前に、ボランティア活動行事保険等に加入することをお勧めします。



八日市冒険遊び場
プレーワーカー



藤澤恵祐さん

子どものワクワクに気付き、
引き出し、尊重しながら・・・、
子どもが自分の力でやりとげた
と感じられるように動く。
子どもの目線に立ち、いいところにたくさん気付き、見つけら
れること。
それがプレーワーカーの大変な
ことだと思っています。

⑦広報する
口コミはとても効果的な広報手段です。
身近な人たちに魅力を伝えて、広げてもらいましょう。
そのときに覚えるように、
白鷹・鳩所・主催者などが明記されたチラシを作成しましょう。
公民館や市民活動センターなどで印刷機を利用できます。

**⑧自由に遊べる
雰囲気をつくること**
ここには遊びのプログラムはありません。
「危ないからだめ」「これをしてはいけない」というのはなるべく言わないで、子どものペースでやってみたいことに自由にチャレンジできる雰囲気を大切にします。
そのため、「自分の責任で自由に遊ぶ~ケガと弁当は自分持ち~」というモットーを掲げています。

⑨利用者と一緒につくる
子どもの遊びを支えるには、大人(親)も主体的に取り組むことが大切です。子どもと一緒に遊びための方法を体験的に知ってもらうためにもどんどん巻き込んでいきましょう。
スタッフが準備しすぎないことがポイントです。
自分の子も他の子と一緒にみると、親同士がお互いさまで追い合える状況がつくれるといいですね。

⑩報告も大事な仕事
行政等への実施報告は、「しっかりした組織だ」「事業の実施能力がある」といった権威を得ていくことにつながります。
また、遊び場での様子などを、定期的に便りにまとめるなど発信することで、地域での活動への理解につながります。

⑪活動を広げていくために
講演会などを企画し地域の人たちに子どもの遊びへの理解を広げたり、工具や資材を購入して道具を作るのに、活動資金があると助かります。
また、遊び場での様子などを、定期的に便りにまとめるなど発信することで、地域での活動への理解につながります。

プレーワーカーって?
冒険遊び場にはプレーワーカーと呼ばれる大人の存在があります。
遊びの指導者ではなく、子どもたちの遊び心を引き出す役です。
「遊びは大切!」というメッセージを周りの大人に発信して、遊び場づくりの共感の輪を広げていくことも大切な役割の一つです。

★遊び場参加はもちろん、自分達で作ってみる・・・という、素敵な活動を応援します。

あそびに来やんせ!!

しが冒険遊び場MAP

*詳細はブログ、ホームページ、フェイスブックで確認しておいで下さい。

13 ながはま冒険あそび場

■ながはま冒険あそび場つくろうの会

①豊公園(長浜市)
②nagahama_asobiba@yahoo.co.jp
③0749-62-1804 (長浜市社会福祉協議会)
④毎月第3土曜日 10時頃～15時頃
<http://nagahamaasobiba.shiga-saku.net/>
FB:<https://www.facebook.com/nagahama.asobiba>

14 箕ヶ岳冒険遊び場

■箕ヶ岳冒険遊び場つくろうの会

①長浜市木ノ本町大音の古民家
②0749-62-1804 (長浜市社会福祉協議会)
③毎月第2土曜日 10時～15時
<https://ja-jp.facebook.com/sizugatake>

1 里山道場「わらべ」

①大津市春日山公園内奥の私有地
(JR堅田駅より西へ徒歩15分/P有り)
②satoyama_warabe@yahoo.co.jp
(*返信に時間かかる場合があります)
③毎月第2土曜日10時～15時頃
(天候等により変更する場合があります)

2 ひわこの森のプレーパーク

■大津に冒険遊び場をつくろう会

mail:hiwakue@gmail.com (代表:平井)
■森好さあつまれ～！ (代表:佐藤)
①大津市瀬田ひづれ文化公園の西側の森
②090-5099-5718 (佐藤)
③毎月1日曜日
mail:appleplane@zeus.eonet.ne.jp
ブログ <http://boukenasobiba1205.shiga-saku.net/>

滋賀★冒険遊び場ネットワーク

*遊び場情報発信及び立上げアドバイザー
mail:shiga.boukenasobiba.nw@gmail.com
<http://www.facebook.com/shiga.boukenasobiba.nw>



■データ内容

- ① 活動場所
- ② 運営先
- ③ 活動日時

12 いぶき冒険遊び場

■いぶき冒険遊び場の会 (代表:福永)
①準備中
②0749-58-1177
③準備中
<http://www.facebook.com/ibukiasobiba>
mail: ibukiasobiba@gmail.com

11 上丹生冒険遊び場

■上丹生に冒険遊び場を作る会 (代表:寺田)
①②詳細右特集ページ参照
③毎月第3土曜日

10 彦根プレーパーク

■彦根プレーパークの会 (代表:猪飼)
①彦根市野田山町 (民地)
②090-6376-9045 (猪飼15時以降可)
③毎月第1・3土曜日
<http://hikoneplaypark.shiga-saku.net/>

6 冒険遊び場近江八幡に創る会

(代表:木村)
①近江八幡市八幡公園
②080-5690-1905
③毎月第1日曜日
<http://asobibahachiman.jimdo.com/>

7 八日市☆冒険遊び場 (代表:村山)

①東近江市八日市緑町 (大水公園)
②090-4307-6685 (村山)
③毎月第3土曜日・第4土曜日 (10時～17時頃)
毎週金曜日 (10時～14時は「ちびば〜く」)
<http://yokaichipark.shiga-saku.net/>
<http://www.facebook.com/BaR/ShiMaoXianYoubiChang>

8 プレーパーク『ポップコーンタイム』

①東近江市禪寺センター ハートビア
②0748-24-2940
③毎月第2・4土曜日 9時30分～12時
Tel: 0748-24-2940
mail: eomishakyoo-youkaichige-omi.ne.jp

9 冒険遊び場「はらっパーク」

(代表:権井)
①東近江市五個庄中央公園
②0748-48-7505
③毎月第4土曜日13時30分～16時
<http://members.e-omi.ne.jp/go-machikyo/>
mail: go-machikyo@e-omi.ne.jp

2013年スタート

新たに生まれる
冒険遊び場

上丹生

KAMINYU

毎月第3土曜日開催

上丹生冒険遊び場は、米原市との協働事業として、4月スタートで準備を進めています。米原市は地域と行政が互いに協力して、地域で子どもが健やかに育つことができる社会の実現を目指しており、正に「冒険遊び場」が目指す方向と一致しているのです。

その事を前提として、今回米原市と連携するには幾つかの目的があります。

一つには、地域の大手やお年寄りにも「冒険遊び場」に関わってもらいたいという想いがあり、様々な知識や技、豊富な経験をお持ちの方（特に高齢者の方）に、遊び場の見守り人や、若い親たちの相談相手として関わってもらいたいと思っています。



上丹生冒険遊び場のシンボル、ツリーハウス

今回、行政が「冒険遊び場」を協働で運営する事で、地域の方の理解や応援が得やすくなるのではないかでしょうか。同時に、行政が得意な分野と、団体が得意な分野を組み合わせことで、これから「冒険遊び場」を始めたいと思う人にとって、上丹生がそのモデルケースになればと考えています。

三年を目処に補助金を受けなくても、自主財源を中心に、自力で運営できる体制を目指しています。

上丹生では「冒険遊び場」活動には、地域のできるだけ多くの人々に関わっていただき、「まちづくり」につなげていきたいという想いがあります。

子どもはもちろん、子どもの親、地域の若い世代や、地域の高齢者の方に関わっていただくことで、地域が一丸となって子育てを支援する態勢（風土）を目指し、結果として「冒険遊び場」の活動を、「まちづくり=地域再生」にもつなげていきたいと考えています。

子どもとお年寄りが生き生きと暮らす地域、そんな姿を見て「その地域で子育てをしたい」と思う若い人が増えることも期待しています。

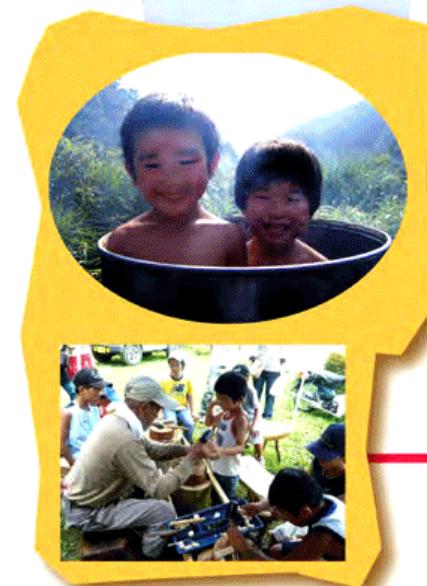
◇団体名: 上丹生プロジェクトK

◇住所 : 米原市上丹生

◇連絡先: 寺田幸彦

Tel 080-1400-0573

<http://www.zb.ztv.ne.jp/image/top.html>



先輩たちに質問!

★実際に冒険遊び場を立ち上げたたくさんの団体より
これから作り出そうとしているあなたへアドバイス!

Question

- ①遊び場を立ち上げる時に大切にした事は何ですか?
- ②立ち上げてみて面白かったこと、楽しかったことのエピソードをお願いします。
- ③これから冒険遊び場を作りたいと思っている人達へのメッセージをお願いします。



■里山道場「わらべ」



- ①人と人、人と自然がふれあい、尊重しあいながら、その絆を次の世代へ繋ぐ。
★できる人が、できる時に、できる事をやり、互いに支えあう。子どもも大人も共に学びあい、育ちあう。
★ホッとして安心でき、自分を表現する。…そんな場にしたいという想いを大切にしました！
- ②土を耕し、田植えや野菜の収穫、草引きなどして、みんなで育てたお米や野菜を、収穫♪ 焚火で調理し、ホカホカご飯や、冬瓜と玉ねぎのスープ、そうめんうりサラダ、ゴーヤチャンプルなど、美味しいくらいだったよー☆☆☆☆みんなで分けっこする喜びも味わったよねっ！
★火の端会議では、「とにかくいっぱい食べて、いっぱいおしゃべりしたなあ」とわいわい世間話から、子育てのお困りごと、真剣な人生相談まで、いろんな先輩、モデルがいるから安心～心～
★自然の中で五感を使った遊びは、ドンドン拓がり、里山探検や、いきもの探し、どちらか遊び、アート、一列になって手づくりの縄渡り…などなど、自然の中で五感を使った遊びは子ども達を輝かせ、本来の力を引き出し、遊びの世界をドンドン拓げていくよ～！
- ③あまり難しく考えず、自分がまず楽しむこと、共感しあえる仲間を見つけること！
そこさえ押さえれば、あとは何とかなるさー！？



■大津に冒険遊び場をつくろう会

- ①主催者が無理をしないで楽しく活動できること
★いろいろな人、団体と繋がって理解をひろめ助けてもらうごと
- ②それぞれの場所、やっている人たちの思いで個性が出てること（森・いきもの・たんぽ・食など）
★活動の趣旨に共感してくれる人や団体との新たな出会いが嬉しい
- ③始めるときにも増して、続けていくなかでいろいろな課題に直面するでしょう。
そんなとき、滋賀にも、全国にも仲間がいます。ともに楽しみ、がんばりましょう！



■とびだせ！駅前キッズ

- ①★駅前なのであそび場に適した広く安全な場所がなかなかなく、場所探しに苦労した。
なるべく子たちたちが自分の意思で行って好きなときに帰れるよう住宅から近いところを考えた。

- ②同じマンションに住むおじいさんに「Sケン」「や・落とし」「など昔の遊びを教えてもらって盛り上がった。
普段は同学年どしあざない子どもたちが学年を超えて眞剣にボールを取り合った。
土手すべりをしていたら学校帰りの中学生が「私たちもやっていいですか？」と聞いてきて一緒に土手すべりやドッヂボールで楽しんだ。

- ③★私の場合、勇気を出して一步行動すればおのずと次にするべきことが見えてきました。「やってみたい」という思いを大切にし、できることを一つずつ丁寧にこなしていくばたくさんの子どもたちの笑顔に出逢えるはず……！だと思います(^^)
- 最初の純粋な気持ちを大切にしてまず、行動してみてください！



■いふき冒険遊び場の会

- ①★無理をしないこと：同じ思いの仲間がなかなか見つからなかったので、よくばらず、自分のできる範囲から始めることにしました。行政など、利用できるところは利用するようにしました。
- 場所選び：どこに行くにも、親が子どもを自動車で送っていくことが多いので、遊び場は子どもが自分で行ける距離でなじみのある場所をと考えました。
市の管理であり整備・活用されていない場所があり、使わせてもらいました。

- ②★手入れされず放置されていた場所だったので、草刈りからしなければなりませんでしたが、子どもたちと一緒に作業されたのも良かったと思います。草むらから、シカ飛び出すというサプライズも！
高い木からぶら下がったブランコは、子どものみならず、大人の女性に人気でした。
「ハイジのブランコ」に、少女に戻ってしまうようです。

- ③★あそび場であうこどもとおとな……そこにある「ひとつの世界を生きている！」、「同時代を生きている！」という~~同時感覚~~を大切にしてきました。そして、どんなに困難な壁が立ちはだかるうども、「おもしろがる」ことを上手にすること、こどもとおとのな関係があれば恐いものなし。あとは、五感を開いてこどもたちの直感を信じ、~~共感して~~行動することを大切に！！

- ④★山、里、川、湖、滋賀は、でっかい遊び場だ！
蘇れ、湖国の、遊び場原風景！

- ⑤皆さんの心の中にきっと自然にわき起るワクワク感があるはずです。
冒険あそび場づくりにこそ、社会を変える周辺エネルギーを感じます。大人もこどもも~~21世紀的~~生き方に挑戦！
ひとりひとりの「存在意義」や「人生のワクワクの地図」をあそび場で描き、偉太な社会をつくっていきましょう！





■彦根プレーパークの会

- ①★まず子どもが自由な発想で思いっきり遊べる場所として冒険遊び場をわが地域にと考えました。しかし私有地での開催であったため、怪我や事故への心配から残念ながら、会員制の親子での参加方法となっています。そして地域の方への理解を得るためにお願いに回ったり、協力を得るために地域の方への参画のお願いもしました。
- ②★子ども達は時間があればあるほどどんどん自由な発想が湧き、やりたいことが見つかるようです。普段の学校生活の中では自由な発想が生まれる時間が、足りないのだと思います。釘ナフイ作りでは温めて、たたいて、冷やしの単純ではあります但根気よく練り返すことの大切さを知ります。自分の作ったナフイでかきをむいた経験がおもしろかったようです。イチゴジャム作りでは冬苺みから始まり鍋でコトコト煮る作業の後に食べるジャムは最高！
- ③★子どもに生きる力を！考えられる時間を！空間を場所を！あの場所・あの時間は日常とは違う何かが見つけられるところだと思います。地域の方・周りの親・大きい子・小さな子と関わる中での体験は学校では学べない何かがみつかるはず！気長に関わるには親自身が楽しめることが重要なポイント！そんな場所・同じ思いの人人が多ければ多いほど、心強いです。これからもどんどん広がって行けばいいなと願っています。



＊はじめての
木工遊び

■賤ヶ岳冒険遊び場

- ①★会場となる古民家は集落の中心部にある為、住民の方々の理解・協力が得られる権限かけ大切にした。自治会・学校へのチラシの配布、自治会長への全戸放送の依頼など。
- ②★子どもはもちろん、親以外の大人達も夢中になって遊び作りをしました。地元のおじいちゃん、おばあちゃんが出てきて子ども達と遊び相手になってくれたり、火おこし、もちつきなどの手伝いをしてくれた。
- ③★まだ立ちあげて間もないグループですが、スタッフみんなが遊び場で楽しんで下さる方々の笑顔に充実感や喜びを感じています。会場にしたい場所があれば社協さんに相談して思い切ってやってみて下さい。

■冒険遊び場近江八幡に創る会

- ①★冒険遊び場近江八幡は、平成22年1月頃より準備を開始し、平成23年5月に第1回を開催しました。立ち上げにあたっては、参加してくださるスタッフとの意思統一を図りました。何かを与える場ではなく、**参加する人全員で創っていく場**であることが、冒険遊び場近江八幡で一番大切にしたいことです。現在も、基本的に開催日の午後にはスタッフミーティングの時間をとり、反省と次回以降の内容を話し合っています。
- ②★子ども達が「初めて」をたくさん経験する場になっているようです。歩いて八幡山を登ったのが初めてだったり、のこぎりや金槌を使うことが初めてだったり、風揚げが初めてだったり。「初めて」の感動を共有できることは、**とても幸せなこと**ではないかと思っています。また、違う学校に通う友だとの新しい出会いの場にもなっており、「遊び」を通じての人の繋がりが広がることも、楽しみの一つです。
- ③★予算のことや場所の問題など、考えることはたくさんあります。が、よい仲間を見つけて助け合いながら、冒険遊び場を盛り上げていっていただきたいと思います。



■ながはま冒険あそび場

- ①★大人も子どもも、ここへ来てくれた**一人一人が生役**となり、みんなで一緒に作り上げる遊び場であるようにと願い、主催者側・参加者側という構図ができてしまわないよう準備の仕方や世話人の動きなどに気を配りました。
- ②★長浜の遊び場は立地条件的に、親子での参加がほとんど。そんな中で「あんなごもしたら楽しいんと違うかな？」と自らその場所を楽しもうとする姿と、そんなお父さんを見つめる子どもたちの姿が印象的でした。子どもはもちろん、大人にとっても自らを開拓できたり、「**やってみたい**」を実現できる場所となることにも大きな喜びを感じます。ここは地域に密着した遊び場ではありませんが、この場で、子どもにこって必要なことを感じてくださったお父さんお母さんが、またそれぞれの生活される地域においても、子ども達が子どもらしくいられる場所を贈りていてくださるような、一つの発信地となることを楽しみにしています。
- ③★「**やってみたい**」と思った時が始め時！「すでにやっているプレー場へ足を運ぼう」「やっている人の話を聞いてみよう」「プレー場興味あるんだけど…」と周りに話してみて仲間を探してみよう…そんな、まずは出来ることからとにかく一步踏み出してみる。不思議なことに、そうして転がりだしたら、どんどん縁がつながっていくのを私たちちは感じました。いろんな方のお力添えやアドバイスをいたたく中で、仲間とも想いを重ね合いながら、少しずつ自分たちの進む方向を見つけていっている気がしています。



■八日市冒険遊び場

遊びの本質は『やってみたい』という気持ちそのもの。子どもたちには、自由な時間と自由な空間のなかで、とことん『遊びかる』体験をしながら育ってほしい。そんな願いから、「八日市冒険遊び場」は始まりました。

- ①★・いろいろな人や団体に助けてもらう。・主催者とお客様の関係にならないようにやりすぎない。
・無理のない程度で少しづつ。
・遊びのプログラムを作らず自然発生的な遊びを大切に。・自分の子育てを楽にするために人に見てもらう。
・大人も楽しむ。・近隣と仲良くする。・時には見てみぬふりをする。
・遊びの価値を高めたい。・子どもたちのやってみたい気持ちを大切にしたい。(同時に大人も)

- ②★ベッコウ飴づくり：お玉に砂糖と少量の水を入れ、金色になるまで煮る。煮立ったら水が入らないようにバケツなどの水で冷やし固める。再度、回りだけをあたためるとお玉からきれいに外れて完成。ベッコウ飴づくりはそんなに簡単なものではない。しかし、失敗が思わず出来果をもたらすことがある。コンペイトウができたのだ。一度失敗したけれど、やっぱり金色の飴が作りたてで、あせらず、じっと、待つ…できた！最高のベッコウ飴と最高の笑顔☆この「できた！」の感動を体験させてあげたい。

③★遊びは、生きる力の源！

子どもは、遊びを通して、自分を知り、お互いに育ち合う中で社会性を身につけていくと思います。子どもがイキイキと、目と耳をかせるような遊び場は、自然があり、ちょっと危険があり、仲間と創造的に遊びを自由に展開していくそんな空間ではないでしょうか。

そんな遊び場と一緒につくりませんか。きっと自分の住んでいる人やまちが好きになるはずです。

■滋賀冒険遊び場ネットワーク

★こんなにも素敵な冒険遊び場は滋賀にはたくさんあります。もっと多くの子ども達やお父さんお母さんに知って欲しい、そしてもっと遊んで育てていって欲しい。。。そんなみなさんのちょっとしたお手伝いをさせて頂く団体です。この素敵な活動に是非！ 気楽に飛び込んで見てはどうでしょう。



編集後記

本事業の実施、本冊子の作成にあたりまして、八日市に冒険遊び場をつくる会の村山弘晃氏、NPO団体アート探検隊ピカソスイッチの中祖厚志氏ならびに県内冒険遊び場づくり団体の皆さまには多大なご協力をいただきましたことを、この場をお借りしまして厚くお礼申しあげます。子どもたちが自由に遊べる環境や、仲間が集まる場所、好きな時間に来て、好きな時間に帰れる場所を、地域の人たちが力を合わせてつくっていく取り組みである冒険遊び場は、地域のコミュニティの再生にもつながるのではないかと期待されています。現在、災害や様々な社会的問題により私たちを取り巻く環境はとても厳しいものとなっていますが、普段からの地域のつながりこそ何よりの資源・力になると思います。

現在、県内には十数カ所の冒険遊び場がありますが、本冊子が県内に冒険遊び場づくりを広めていくための一助になれば幸いです。

平成25年3月
社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会

参考図書・ホームページ

参考図書

- 遊びの力～遊びの環境づくり30年の歩みとこれから～ 萌文社 大村璋子編著
- よみがえる子どもの輝く笑顔～遊びには自分を育て、癒やす力がある～ あんしん子育てすこやか保育ライブラリー 天野秀昭著
- 遊び場づくりハンドブック～自分の責任で自由に遊ぶ～ ぎょうせい 大村璋子著
- もっと自由な遊び場 大月書店 遊びの価値と安全を考える会著
- はじめよう！パートナーシップで冒険遊び場づくり 日本冒険遊び場づくり協会著
- 遊び場（プレーパーク）のヒミツ～羽根木プレーパーク20年 羽根木プレーパークの会著

参考ホームページ（プレーパークのことについてもっと知りたい！）

- 日本冒険遊び場づくり協会 <http://www.ipa-japan.org/asobiba/>
「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした 全国の冒険遊び場づくりを支援するNPOです
- 冒険遊び場たごっこパーク <http://blog.goo.ne.jp/yumemachinet>
静岡県富士市でNPO法人ゆめ・まち・ねっとが運営しています

編集・デザイン・マンガ制作 アート探検隊“ピカソ・スイッチ” 代表 中祖厚志・美佳

〒527-0012 滋賀県東近江市八日市本町9-12
TEL/FAX 0748(24)2355

MAIL:Picasso.switch@gmail.com
FB:<http://www.facebook.com/atsushi.nakaso.7>

制作協力 取材協力 八日市に冒険遊び場をつくる会 プレーワーカーのみなさん
滋賀県内冒険遊び場のみなさん

全国200万人加入!! ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償



年間保険料	基本タイプ	天災タイプ
Aプラン	280円	490円
Bプラン	420円	720円

○天災タイプは基本タイプ+地震・噴火・津波を補償

*各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

ボランティア行動用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!
● 行事参加者(主催者(個人)を含みます)全員のケガを補償(往復途中も含みます。) ● 行事主催者の損害賠償責任も補償

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!
● 在宅福祉サービス
(公的介護保険対象外サービスを含みます。) ● 児童福祉サービス
● 地域福祉サービス など



送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故によるケガを補償!
● 送迎・移送サービス利用者を特定したプラン
● 送迎・移送サービスのための自動車を特定したプラン

お申込み、お問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ
団体契約者 社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一緒にして契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区麹町3丁目3番2号 新麹町ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(引受け幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社
TEL:03(3231)7545